



## IKEV2 VRF サポート

- 機能の概要と変更履歴 (1 ページ)
- 機能説明 (2 ページ)
- 仕組み (2 ページ)
- 制限事項 (2 ページ)
- VRF を使用した IKEv2 IPSec の設定 (2 ページ)

## 機能の概要と変更履歴

### 要約データ

該当製品または機能エリア	StarOS
該当プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"><li>• ASR 5500</li><li>• VPC-DI</li></ul>
機能のデフォルト	該当なし
このリリースでの関連する変更点	N/A
関連資料	該当なし

### マニュアルの変更履歴

改訂の詳細	リリース
最初の導入。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 21.28.m6</li><li>• 21.28.F3</li></ul>

## 機能説明

StarOS では、IKEv2 VRF 機能がない場合、IPSec IKEv1 トンネルのみが VRF 認識であり、IKEv1 は任意の VRF から発信される暗号化トラフィックをトンネルします。一方、IPSec IKEv2 トンネルは、デフォルトの VRF でのみトラフィックを確立して暗号化します。IKEv2 VRF 機能は、任意の VRF で IPSec IKEv2 トンネルの確立とトラフィックの暗号化をサポートします。

## 仕組み

ASR5500 および VPC-DI 環境で IKEv2 の VRF をサポートするには、復号されたパケットが破棄されないように、適切な VRF で処理する必要があります。次の機能が発生します。

- ACL は、制御パケットとトリガーパケットに対して初めてヒットします。
- IPSec にパケットを送信し、トンネルを作成します。
- キーの交換を開始し、キーペアによってトンネルを確立します。
- トンネルが確立されると、その特定の ipsecmgr フロー DB エントリが削除され、新しいエントリが作成されます。これにより、次のパケットが暗号エンジンに渡され、転送されます。これは、IPv4 と IPv6 に共通です。
- 

## 制限事項

次の制限事項があります。

- キー交換とトンネルの確立は、トラフィックを暗号化する必要がある VRF ではなく、デフォルト VRF で行われます。
- 暗号マップごとの IPSec ACL の最大数は 7 です。APN で複数の IP チャンクをサポートするには、複数のアクセスリストを設定する必要があります。これにより、エンタープライズ VRF ごとの IPSec トンネルが複数になる可能性があります。
- 暗号マップに対応する ACL ルールを再設定するには、既存のトンネルを再確立する必要があります。この操作により、アップリンクおよびダウンリンクのサブスクリーバトラフィックが中断します。

## VRF を使用した IKEv2 IPSec の設定

VRF を使用して IKEv2 IPSec を設定するには、次の設定コマンド例を使用します。次の設定例は、エンタープライズ VRF とデフォルト VRF でループバック IP がオーバーラップして、デ

フォルト VRF からのキーの交換を可能にすると同時に、暗号マップを VRF インターフェイスに適用できるようにする方法を示しています。

```

context ipsec-s
    ip vrf i-s
    #exit
    ip access-list boo
        permit ip host 2.1.1.1 host 2.2.1.1
    #exit
    crypto ipsec transform-set A-foo esp hmac sha1-96 cipher aes-cbc-128
        mode tunnel
    #exit
    ipsec transform-set B-foo
        hmac sha2-256-128
        group 14
    #exit
    ikevl policy 1
    #exit
    ikev2-ikesa transform-set ikesa-foo
        group 14
        hmac sha2-256-128
        prf sha2-256
    #exit
    crypto map foo ikev2-ipv4
        match address boo
        authentication local pre-shared-key encrypted key
+B0bqvzhrkkwujr2kt37b0yxo4631silym4g2zn9r2rs0o7xrn3r4i09aexdk701t8d0cqt2ivg039da1267r6tcurypyk3qhdjbffwo7t6s

        authentication remote pre-shared-key encrypted key
+B0975tvzeoi0lg2z178a17mnhv20yw3cesh97zi436qvsyoadulmh2pbgcnndjxchq0c3fn5p2i3y7b12uqc4bwsmi5x324ikw0wfzus8

    ikev2-ikesa transform-set list ikesa-foo
    ikev2-ikesa rekey
    payload foo-sa0 match ipv4
        ipsec transform-set list B-foo
        rekey keepalive
    #exit
    peer 5.2.1.1
    #exit
    interface ike
        ip address 192.168.110.120 255.255.255.0
    #exit
    interface iv1 loopback
        ip vrf forwarding i-s
        ip address 2.1.1.1 255.255.255.255
    #exit
    interface iv2 loopback
        ip vrf forwarding i-s
        ip address 5.1.1.1 255.255.255.255
        crypto-map foo
    #exit
    interface iv3 loopback
        ip address 5.1.1.1 255.255.255.255
    #exit
    subscriber default
    exit
    aaa group default
    #exit
    gtp limit-secondary-rat-usage 32
    ip route 5.2.1.1 255.255.255.255 192.168.110.89 ike
    #exit
    port ethernet 1/10
        no shutdown
        vlan 110

```

## VRF を使用した IKEv2 IPSec の設定

```
no shutdown
bind interface ike ipsec-s
#exit
#exit
```

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。